



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0147号 2022年5月25日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

三年ぶり現地参加で開催 第93回メーデー 平和と暮らしを守る共闘を



三年ぶりに現地参加で開催された第93回メーデーに参加しました。全国200か所以上の会場で開かれ、平和と暮らし守れの声を上げ、アピールしました。

CU東京の本部は、全労連、東京地評の旗のもとに、高島素昭副委員長先頭に参加、青山コースをデモ行進しました。こうとう、文京、三多摩は15人から20人が参加、団結と懇親の場となりました。

中央メーデーに2800人、三多摩メーデーに1500人が参加しました。

春の拡大月間 <<5/20現在38人>>
豊島、ちよだ、港、あだち 4支部目標達成！
新しい組合リーフ渡し、すべての組合員に声をかけよう

〈支部大会開かれる〉

学習と経験を積んで、
相談や団体交渉の力量を高めたい
中野支部



4月17日(日)中野区産業振興センターにてCU東京中野支部第6回定期大会を開催しました。昨年はコロナのために文書確認としましたので、久々に組合員が集まる機会となりました。

大会の前半は学習会とし、来賓の方も一緒にお話を伺いました。テーマは「働く人々の実情とCUの役割・活動」講師はCU東京副委員長の鈴木明彦さん。鈴木さんは、ユニオンちよだの豊かな経験から、労働相談から解決への道筋をお話してくださいました。時には、団体交渉で解決できず、社前行動や救済申し立て、労働審判や訴訟になるケースもあります。鈴木さんはそれらを具体的に実践的にお話してくださいました。中野支部も、学習と経験を積んで、相談や団体交渉の力量を高めたいと強く思いました。

中野労連、東京土建中野支部、日本共産党から来賓あいさつを受け、経過と運動方針、決算と予算について討論し、決定しました。毎月の宣伝活動を持続・強化すること、労働相談の内容をみんなに知らせて協同のとりくみにすること、団体交渉にみんなでとりくむなど、働く者の「駆け込み寺」の役割の強化を確認しました。組織の拡大強化に常にとりくみ、50人の支部をつくろうと決意しました。選出された役員は次のとおり。

執行委員長・中村文康

副委員長・山口君彦、石井富郎

書記長・菊池恒美

書記次長・板垣寿一、牧野大志

執行委員・中村裕次、中村健一

会計監査・今福郁

闘っている組合員も参加
加入者を迎えて大会開く
葛飾支部



3年ぶりに、リアルでかつしか支部定期大会が、5月15日(日)、東京土建葛飾支部会館で18人の参加で開催されました。共産党区議、葛飾区労連副議長、CU東京高木書記長が来賓挨拶しました。

議案は、2021年度経過報告、2022年度活動方針、決算・予算、役員提案を討議・採択しました。討論では闘っている当事者も発言しました。大会前に加入者を1人迎え、大会当日も新たに加入書が持ち寄られました。新委員長の塚田さんは、相談に応え、次期大会は三桁で迎えたいと挨拶し閉会しました。

2022年度の新役員3役は次のとおり。

委員長 塚田共也

副委員長 益子栄治、細貝文洋

書記長 柳生秀行

入院共済給付、助かりました

昨日、入院共済給金が振り込まれていることが確認しました。申請からすぐに振り込まれ、「申請からすぐに対応してくれたんだ」と思い、感謝しています。

自分も息子も、入院共済にはお世話になり、改めてありがたく、感謝しています。それに、敏速な対応に組合委員の一人として息子も驚き、喜んでいました。ありがとうございました。

(かつしかK・O)

セクハラ裁判始まる 支える会発足へ



5月11日（水）Oさんのセクハラ裁判が始まりました。第一回目の法廷には、原告の家族を含め支援者が18名集まり、Oさんの意見陳述を見守りました。

裁判では、「生々しい猥褻な写真を送り付けられ、気持ちが悪くまた恐怖を覚えたこと」「犯人が社内の営業課長と判明してからも、会社は対策を取らず、私が求めてやっと会社の役員に面談し訴えたのに、『良かれと思ってやったようだよ』『当事者間の問題だ』『警察の判断がないと何もできない』と放置したうえ、逆に加害者の方を持つような対応で深く傷つけられた」「この事件で体調も崩し、メンタル的なダメージも大きかった、そして会社を辞めざるを得ず経済的にも苦しい、会社と営業課長に誤りを認め補償をしてほしい」と訴えました。

参加者からは、その人は、なんでこんな異常な行為を行ったのか？とても考えられない」となどの質問も出て、裁判を応援する大きな拍手が起きました。

次回の法廷は、6月22日13:10から、612号法廷と決まりました。

この日は「セクハラ裁判を闘うOさんを支える会」の発足と、事件を受けていただいた岸松江先生の「セクハラ職場をなくす」学習会もあり、CU東京文京支部は両方の成功のため頑張ろうと思っています。

（文京支部書記長 山田 三平）

ユニオンちよだ 8人拡大し、目標達成！

4月の労働相談は、ユニオンちよだHP（メール・電話）経由と紹介などで多くの相談が寄せられました。

相談内容は、雇用契約書や業務命令の内容、上司との人間関係など様々でしたが、実際、組合加入となると躊躇して考えてしまう方もいます。そんなときは、無理に加入を勧めず「よく考えてご自身で判断してください。」と持ち帰って検討することを勧めていました。その結果、加入につながるケースが多々あります。早期に8人の加入で目標達成になりました。（ユニオンちよだ書記長 鈴木明彦）

労働基準監督署に 相談に行ってみたこと

5月に入って、CUあだちに駆け込んだ労働者と3人で労働基準監督署に行きました。相談は解雇と労働災害・パワハラ。あらかじめ相談内容を伝えました。

会社の就業規則の開示を求めたところ、「無い」「会社に確認をとらない」と言います。啞然としました。相談に関わる重要なことと求めました。持ってきたのは当該事業所の『変更届』。あらためて就業規則の開示を求めました。「対応する」と答えましたので、速やかな対応を求めました。また、事業所を指導するよう要請しました。

次に、労働災害・パワハラの相談。担当に変わり、パンフレットを並べて説明をはじめ、その説明がこれをクリアして、あれをクリアして、必要なことの説明なのかもしれませんが、困難性が強調されているよう。また、事業主の協力が必要なこと、「わたしは言っていない」と言われると困難になりますし、「司法権はありませんので」とまで言われました。

労働者は明日の生活もあり、助けを求めて、決死の覚悟で相談に来ています。病気で働けなくなり困って来ています。相談に応える機関ではないのかと思っていたら、参加したKさんが「俺一人で来たらどうなっていたのか」の一言。わたしたちの運動、相談者に寄り添う活動の大事さを強く感じた行動でした。

(CUあだち 高島章寿)

東京土建主婦の会での学習会 「ジェンダー視点の 労働相談の取り組み」 伊東副委員長が講師 〈田辺副委員長が感想を寄せました〉



『皆さんにお聞きします！パートナーに「おい」とか「お前」とか呼ばれたことはありますか？』4月26日、土建主婦の会本部委員会に伊東副委員長が学習会講師として派遣された時の第一声です。【ジェンダー視点の労働相談の取り組み】と題して、ご自身の経験を具体的な事例として紹介しながらの説明。とてもわかりやすい！

CU東京では、労働女性の相談者を単なる被害者として見るのではなく、苦境を乗り越えた女性が、続く人々を救う立場に立てるように支援していく相談活動を行っていること、相談者がいかにエンパワーしていくかに注意を払って

CU東京第14回定期大会

7月23日(土)

けんせつプラザ東京

11時開会(詳細は後日)

いるかを伝えた。与えられた30分間で、CU東京の紹介とジェンダーへの意識改革を懸命にお話しされた伊東副委員長に感服でした。

(田辺陽子)

松井優希さん・雨宮処凛さんがトーク

4/24 第34回多喜二祭 240人参加

4月24日、座・高円寺で開かれた多喜二祭に松井副委員長が出演。松井さんは労働組合につながる経過、コロナ禍の働く人の現状、休業補償の相談を報告。

参加者から「もっと聞きたい」「頼ましい」「期待したい」など感想が寄せられました。同集会でCUリーフが配布されました。



登壇する
松井副委員長

■CU東京は2009年6月14日に結成されました。来年は節目の第15回大会を迎えます。個別労使紛争が多発する時代に応える労働組合です。今、最高の峰1600人です。6月は言わば“誕生月”です。前進で迎えたいものです。■本部は「こみゅーと」、支部も機関紙(ニュース)を発行、組合員に届けています。5月の「あだち」に2年分の残業代を払わせた組合員本人が「組合員は伊達にあるわけではない」「気軽に相談できる所」と体験を寄せています。もっともっと知らせていきましょう。■本部事務所の壁にはたくさんの紙を張り出しています。目をひくのは、拡大月間が一目でわかる棒グラフ。一人加入すれば星がつきます。グラフに4つ目の赤いバラがつけました。4支部が目標達成！月間も中盤、組合員みんなにリーフを渡し協力を呼びかけて、運動を広げましょう。